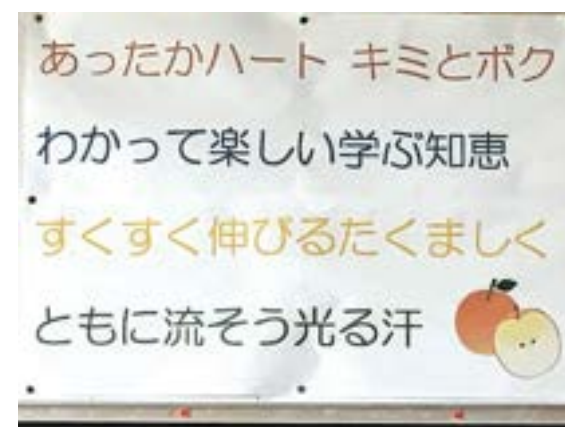


吉田小

農業通じ地域住民と交流



これがイチオシ

「合言葉」みんなで合唱

吉田小学校には、4つの合言葉があります。

「あったかハート キミとボク」
「わかって楽しい 学ぶ知恵」
「すくすく伸びる たくましく」
「ともに流そう 光る汗」

いずれも歌と振り付けがあり、朝会の終わりに全校児童で歌って退場します。また、4つの合言葉をヒントに、友達の良いところ探しをします。友達の良いところや自分の良いところが分かるとうれいす。これから4つの合言葉を大切にします。

学校名 亘理町立吉田小学校
所在地 亘理町吉田宮前63
創立 1880年
電話 0223(34)1817
校長 斎藤 昭子
児童数 68人

私たちの学校では、総合的な学習の時間に地域に協力いただき、農業体験をしています。3年生はりんご作り、4年生は枝豆と大豆作り、5年生はコメ作りをします。りんご作りは、学校敷地内にある「アップルランド」のりんごの花に花粉を付け、受粉させます。11月に実がなるので、全校児童で収穫します。

枝豆と大豆作りでは、畑に大豆の種をまき、枝豆に成長させます。枝豆を半分ほど収穫したら、残りの枝豆を乾燥させて大豆にします。大豆をき



①アップルランドの子ともたち②泥どろだらけになった田植え③米の収穫④地域の方とみそ作り

編集委員 木立陽葵、佐藤歩、星夢乃（3月卒業）庄子天誠、永野陽大（6年）
指導教員 川田真、渡辺みなみ

コメ、豆、りんご作り

なこにする体験や、みそを作る体験にも取り組めます。

コメ作りは、種もみをまいて苗作りから始めます。田植えをした後は、地域の人が水の調整などをしてくださり、稲を育ててくれます。秋に稲刈りをして精米します。

他の学校ではできない体験がたくさんあります。活動を通じて、地域の人と交流が増え、地域への関心を持つようになりまし。これらの経験から、これからも地域に開かれた吉田小でありたいと思います。

わが校わがまち スクール通信



今回は
岩出山小（大崎市）
富沢小（仙台市）

学年越えて行事取り組み

仲良く「たてわり活動」

私たちの学校は、1、6年生がグループとなり、遊んだり、国史跡の遠見塚古墳の清掃といった行事に取り組んだりする「たてわり活動」を行っています。

6年生が中心となってゲームを考え、「へびじやんけん」「なんでもバスケット」などをみんなで遊びます。大勢で「おにごっこ」や「ドッジボール」をすることもあり、楽しく活動しています。

いろいろな学年の友達と交流することで、仲が深まります。これからもみんなが楽しく、協力し合えるたてわり活動にしていきたいです。



たてわり活動で取り組んだ古墳の清掃

編集委員 伊東琉、植田希依、後藤結衣、桜井結人、佐藤あさひ、宮川夏寧（6年）
指導教員 米倉菜佑、菊池哲矢

遠見塚小



これがイチオシ

隣の古墳 清掃し大切に

遠見塚古墳は学校の隣にあり、昔、仙台平野を治めた豪族の墓と考えられています。私たちはこの古墳を守るため、清掃に取り組んでいます。たてわりグループで落ち葉を拾い、きれいになった古墳を見るとうれしくなります。

毎年恒例のイベント「古墳まつり」もあります。たてわりグループごとに出店したり、店を回ったりします。火起こしや弓矢体験の店もあります。遠見塚古墳の歴史も学びます。これからも、古墳を大切に守りながら、すてきな思い出をたくさん作りたいたです。

学校名 仙台市立遠見塚小学校
所在地 仙台市若林区遠見塚1の22の1
創立 1967年
電話 022(286)2010
校長 高橋 信義
児童 421人

防災拠点で一晩
児童思い思いに
柴田町総合体育館で合宿

消灯前に眠る場所を確保し寝袋の準備（じゅんぴ）をする子どもたち

昨年12月にオープンした、防災拠点の機能を備える柴田町総合体育館を身近に感じてもらうと、町総合型地域スポーツクラブは小学生を対象に「何にもしない合宿」を実施した。子どもたちは思い思いに体育館で一晩を過ごした。

合宿は6月27、28日にあった。町内の六つの小学校を中心に4、6年生99人が参加。夕食を済ませて午後7時に集合した。保護者が帰宅した後もスタッフは特別に世話をせず、見守りに徹した。

子どもたちは午後9時までの2時間、卓球やバスケットボールなどで汗を流したり、ロビーで宿題をしたりして過ごした。消灯は午後9時半で、卓球の防球フェンスを使ってグループごとにスペースを確保。持参した寝袋やタオルを敷いて眠った。

「歩き回ったり、声を出したりする人がいて寝られない」と訴える児童もいたが、28日午前2時ごろ全員が眠った。午前6時ごろに起床し、午前7時に帰宅した。

東船岡小6年の三浦陽仁さん（11）は「違う学校の子とも一緒に遊んだ。体育館は災害時に集まる場所と聞いたので、家に帰ったら家族と防災について話をしたい」と話した。

体育館の指定管理者とスポーツクラブが、初めて企画した。クラブの平間奈緒美会長は「子どもたちに避難所としての認識してもらおうのが最大の目的。実際の避難所体験に近づけるため、今後は大人を含めた多くの世代が参加する内容も検討したい」と話した。

（7月9日朝刊より）

河北新報の仕事 がんばった

仙台市スチューデントシティ支局員紹介



桜丘小6年

7月10日



北中山小6年、上愛子小6年

7月11日

鶴巻小6年

7月8日

南小泉小6年

7月9日